

最近の三重県内経済情勢

(県内経済情勢報告)


令和 6 年 8 月 6 日



財務省東海財務局
津財務事務所

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」










項目	前回（6年4月判断）	今回（6年7月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

（注）6年7月判断は、前回6年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している。雇用情勢は、改善の動きに足踏みがみられる。

【各項目の判断】

項目	前回（6年4月判断）	今回（6年7月判断）	前回比較
個人消費	持ち直している	持ち直している	
生産活動	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している	
雇用情勢	改善に向けた動きが続いている	改善の動きに足踏みがみられる	
設備投資	5年度は増加見込みとなっている	6年度は減少見込みとなっている	
企業収益	5年度は減益見込みとなっている	6年度は減益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超となっている	「下降」超となっている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年を上回っている	前年を上回っている	
企業倒産	件数は前年を下回っている	件数は前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善に向かう下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直している」

百貨店・スーパー販売は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。

コンビニエンスストア販売は、横ばいとなっている。

ドラッグストア販売は、堅調となっている。

ホームセンター販売は、弱い動きが続いている。

家電大型専門店販売は、弱い動きが続いている。

乗用車販売は、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響がみられるものの、持ち直しつつある。

主要観光施設の入込客は、回復している。

(主なヒアリング結果)

- 普段の消費を抑えつつ、観光等で外出した際にお金を使うメリハリ消費の傾向が強まっており、当店においてもイベント開催時以外は集客に苦戦している。(百貨店)
- 物価高騰が続く中、足下では天候不順により生鮮食品の価格が上昇。節約意識が高まり、消費者がより安い店舗に流れるようになっている。(スーパー)
- 納期が改善されたことで自動車を購入しやすい環境が整い、受注が伸びてきている。(自動車販売店)
- GWの日並びが良かったことに加え、昨年よりイベント開催が増えたことで、入込客数は増加した。(娯楽業)

■ 生産活動 「一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している」

電子部品・デバイスのうち、半導体集積回路（メモリ）は、持ち直している。液晶表示装置は、弱まっている。

輸送機械は、緩やかに回復している。

石油化学は、弱い動きとなっている。

汎用・生産用・業務用機械は、高水準の受注残を背景に、持ち直しが続いている。

電気機械は、持ち直しに向けた動きが続いている。

(主なヒアリング結果)

- 特にデータセンター向けの需要が強く、生産が追い付かないほどの受注が入っている。当面はフル稼働の状況が続く見込み。(電子部品・デバイス)
- 能登半島地震の影響で滞っていた部品供給も正常化し、一時的に落ちていた稼働率もほぼフル稼働の状況まで回復している。(輸送機械)
- 中小企業を中心に国内の設備投資需要は低迷を続けているが、為替の影響もあってか、海外需要は堅調に推移している。(汎用・生産用・業務用機械)
- 主力となる自動車向けが一時的に落ち込んだものの、足下では持ち直している。中国を始めとした諸外国の動向を注視する必要はあるものの、当面は堅調に推移する見通し。(電気機械)

■ 雇用情勢 「改善の動きに足踏みがみられる」

企業側の人手不足感が強まっているものの、雇用情勢は、改善の動きに足踏みがみられる。

(主なヒアリング結果)

- 久しぶりにベアを実施したものの、他社も同様に実施していることもあり、応募状況に変化は見られない。大幅な賃上げも難しく、労働環境や女性登用を積極的にPRし採用につなげたい。(百貨店)
- 小売業界で求められるコミュニケーション能力に長けた人材は取り合いになってしまっており、従業員の質を保ったまま数を増やすことは極めて困難。(ショッピングモール)
- 運輸業において、燃料価格や車両のメンテナンス費用が増加している一方、小規模事業者を中心として運賃に十分転嫁できず、新たに人を雇う余力がない事業者が多い。(労働局)

■ 設備投資 「6年度は減少見込みとなっている」(全産業)「法人企業景気予測調査」6年4-6月期

○ 製造業は減少見込み、非製造業は増加見込みとなっている。

(主なヒアリング結果)

- 昨年度実施した半導体関連の大型設備がこれから本格稼働する。当面の大型投資が完了したこともあって、今年度は概ね平常運転に戻る予定。(情報通信機械器具)
- 昨年度から繰り越した物流倉庫の改築等を予定しており、今年度は増加見込みとなっている。(運輸業)

■ 企業収益 「6年度は減益見込みとなっている」(全産業)「法人企業景気予測調査」6年4-6月期

○ 製造業、非製造業ともに減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」(全産業)「法人企業景気予測調査」6年4-6月期

○ 企業の景況判断BSIは、「下降」超となっている。なお、先行きは、「上昇」超となる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

○ 新設住宅着工戸数の利用関係別(3か月累計)で見ると、持家、貸家、分譲がそれぞれ前年を下回っていることから、全体でも前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年を上回っている」

○ 前払金保証請負金額(後方6か月累計)で見ると、県が前年を下回っているものの、国、市町、独立行政法人等がそれぞれ前年を上回っていることから、全体でも前年を上回っている。

■ 企業倒産 「件数は前年を上回っている」

1. 本調査結果に関する問い合わせは下記へお願いします。

財務省東海財務局 津財務事務所 財務課

Tel (059) 225-7222 (ダイヤル)

2. 県内経済情勢報告は下記ホームページでもご覧頂けます。

ホームページ=<https://lfb.mof.go.jp/tokai/tu.htm>